

No.	海岸名	所管	市町村
14	保々見港	国土(港)	海士町



海岸整備の方向性	
全体	高潮対策事業により整備を進める。施設整備にあたっては環境面、利用面に配慮する。
防護面	越波が激しいため、現在、高潮対策事業により整備中である。
環境面	社会環境要素として自然公園区域に指定されている。
利用面	港湾利用者、海水浴利用者に対する配慮が必要である。

海岸及び背後の状況						
海岸保全区域の概況	東向き湾の最奥部に位置する礫浜海岸。背後は民家が建ち並ぶ。直立護岸前面にわずかに礫浜が残る。既設護岸前面に階段式護岸を整備中である。					
海岸状況	人工					
利用状況	海水浴					
背後地	住宅地 山林					
幹線道路からの距離	2km以上					
アクセス道路	車線					
地域からの要請	護岸改良の早期完成。					
現況防護施設						
防護目的	高潮					
現保全施設	施設名	護岸	護岸			
飛砂対策		なし				

海岸整備における配慮要素			
環境面			該当
自然環境要素	海辺の注目種	特定植物群落	
	海辺の地形的要因	藻場 (アマモ場・海中草原) 藻場 (カラムシ場・海中林)	
社会環境要素	海岸景観(法的規制区域)	自然公園区域	○
		自然環境保全地域 鳥獣保護区(特別保護区)	
	海岸景観(その他)	自然景観資源	
利用面			該当
社会環境要素	海辺利用(産業面)	漁港 港湾	○
	海辺利用(レクリエーション面)	海水浴場	
備考			
規模は小さいが海水浴利用もされている。			

No.	海岸名	所管	市町村
15	御波港	国土(港)	海士町



海岸整備の方向性	
全体	高潮、侵食対策を進める。施設整備にあたっては環境面、利用面に配慮する。
防護面	護岸の未整備区間では、越波対策が必要である。侵食が進んでいる海岸があり、その対策が必要である。
環境面	社会環境要素として自然公園区域に指定されている。
利用面	港湾利用者に対する配慮が必要である。

海岸及び背後の状況	
海岸保全区域の概況	南東向きの湾の最奥部に位置する区域。背後は民家が建ち並ぶ。大半が護岸が整備された人工海岸。一部、未改良区間がある。南東端の防波堤内側に要指定区域がある。
海岸状況	人工 礫浜
利用状況	漁業
背後地	住宅地、山林
幹線道路からの距離	隣接
アクセス道路	1車線
地域からの要請	
現況防護施設	
防護目的	高潮
現保全施設	護岸
施設名	
飛砂対策	なし

海岸整備における配慮要素			
環境面			該当
自然環境要素	海辺の注目種	特定植物群落	
	海辺の地形的要因	藻場 (アマモ場・海中草原) 藻場 (カサモ場・海中林)	
社会環境要素	海岸景観(法的規制区域)	自然公園区域 自然環境保全地域 鳥獣保護区(特別保護区)	○
	海岸景観(その他)	自然景観資源	
利用面			該当
社会環境要素	海辺利用(産業面)	漁港 港湾	○
	海辺利用(レクリエーション面)	海水浴場	
備考			

No.	海岸名	所管	市町村
16	美田港	国土(港)	西ノ島町



海岸整備の方向性	
全体	侵食対策を進める。施設整備にあたっては環境面、利用面に配慮する。
防護面	部分的に侵食、堆積が進んでいるため、その対策が必要である。
環境面	自然環境要素として藻場があり、社会環境要素として自然公園区域に指定されている。
利用面	港湾利用者、海水浴場利用者に対する配慮が必要である。

海岸及び背後の状況			
海岸保全区域の概況	船引運河北側の外海に面した砂浜海岸。背後は砂丘林が整備され、その後方は農地。前面は、人工リーフが整備されている。		
海岸状況	砂浜		
利用状況	海水浴		
背後地	農地	住宅地	山林
幹線道路からの距離	隣接		
アクセス道路	1車線		
地域からの要請			
現況防護施設			
防護目的	侵食		
現保全施設	施設名	潜堤・人工リーフ	
飛砂対策	なし		

海岸整備における配慮要素			
環境面			該当
自然環境要素	海辺の注目種	特定植物群落	○
	海辺の地形的要因	藻場 (アマモ場・海中草原) 藻場 (カマモ場・海中林)	○ ○
社会環境要素	海岸景観(法的規制区域)	自然公園区域 自然環境保全地域 鳥獣保護区(特別保護区)	○
	海岸景観(その他)	自然景観資源	
利用面			該当
社会環境要素	海辺利用 (産業面)	漁港 港湾	 ○
	海辺利用 (レクリエーション面)	海水浴場	○
備考			
特定植物群落：船越の海岸植生(1)(2)			

No.	海岸名	所管	市町村
17	別府港	国土(港)	西ノ島町



海岸整備の方向性	
全体	高潮対策事業により整備を進める。施設整備にあたっては環境面、利用面に配慮する。
防護面	越波が激しいため、現在、高潮対策事業により整備中である。
環境面	自然環境要素として特定植物群落、藻場があり、社会環境要素として自然公園区域に指定されている。
利用面	港湾利用者に対する配慮が必要である。

海岸及び背後の状況	
海岸保全区域の概況	美田港の南端に位置する大山地区。湾曲した海岸線は直立護岸が整備され浜はない。背後は集落、その後方は山林である。
海岸状況	人工
利用状況	漁業
背後地	住宅地 山林
幹線道路からの距離	500m～2km
アクセス道路	1車線
地域からの要請	砂浜の整備
現況防護施設	
防護目的	高潮
現保全施設	護岸
施設名	護岸 潜堤・人工リーフ
飛砂対策	なし

海岸整備における配慮要素			
環境面			該当
自然環境要素	海辺の注目種	特定植物群落	
	海辺の地形的要因	藻場 (アマモ場・海中草原) 藻場 (カサモ場・海中林)	○
社会環境要素	海岸景観(法的規制区域)	自然公園区域 自然環境保全地域 鳥獣保護区(特別保護区)	○
	海岸景観(その他)	自然景観資源	
利用面			該当
社会環境要素	海辺利用(産業面)	漁港 港湾	○
	海辺利用(レクリエーション面)	海水浴場	
備考			

No.	海岸名	所管	市町村
18	知夫漁港(仁夫里地区)	水産	知夫村



海岸整備の方向性	
全体	高潮対策事業により整備を進める。施設整備にあたっては、環境面、利用面に配慮する。
防護面	老朽化により機能の低下しているおそれのある海岸保全施設が存在しているため、必要に応じその対策を行う。
環境面	社会的環境要素として自然公園区域、自然景観資源に指定されている。
利用面	漁港利用者に対する配慮が必要である。

海岸及び背後の状況	
海岸保全区域の概況	横尾川の河口に位置し護岸整備された人工海岸。背後は民家が建ち並ぶ。
海岸状況	人工
利用状況	
背後地	住宅地
幹線道路からの距離	2km以上
アクセス道路	1車線
地域からの要請	
現況防護施設	
防護目的	高潮
現保全施設	施設名
飛砂対策	なし

海岸整備における配慮要素			
環境面			該当
自然環境要素	海辺の注目種	特定植物群落	
	海辺の地形的要因	藻場 (アマモ場・海中草原) 藻場 (ガラモ場・海中林)	
社会環境要素	海岸景観(法的規制区域)	自然公園区域	○
		自然環境保全地域 鳥獣保護区(特別保護区)	
	海岸景観(その他)	自然景観資源	○
利用面			該当
社会環境要素	海辺利用(産業面)	漁港 港湾	○
	海辺利用(レクリエーション面)	海水浴場	
備考			